

資料編



滋賀県立精神医療センター30年のあゆみ

	平成元年度 (1989年度)	平成2年度 (1990年度)	平成3年度 (1991年度)	平成4年度 (1992年度)	平成5年度 (1993年度)	平成6年度 (1994年度)
病院長 (所長H4～H17)				由良 了三	由良 了三	由良 了三
病院次長				栗原 治雄	栗原 治雄	栗原 治雄
事務局長				田淵 金彦	田淵 金彦	田淵 金彦
診療局長 (部長H4～H8)				渡邊 央	渡邊 央	渡邊 央
看護部長				松田 恵子	松田 恵子	松田 恵子
病院全体の経緯	精神保健総合センター開設準備室設置／実施設計完了	精神保健総合センター起工		精神保健総合センター部分竣工/竣工・開設/精神保健センター部門業務開始/病院部門業務開始/外来・入院業務(50床)/精神科デイケア部門業務開始	労災保険指定病院の指定/100床にフルオープン/結核予防法指定医療機関の指定/原爆被爆者一般疾病医療機関の指定	ASM(アルコールスタッフミーティング)開始
施設基準					精神科デイ・ケア(大規模)	療養環境加算
診療局				入院・外来業務開始(薬剤科)	内科増設・病棟増床による業務拡大(薬剤科)	
				MR装置(1T)、X線CT装置(シングルスライス)、X線一般・TV装置導入(放射線科)	近隣医療機関からの依頼検査開始(MR・CT)(放射線科)	
				検体検査、生理機能検査を開院と同時に開始(検査科)		
				病院給食開始(栄養指導科)	デイケア通所者への昼食提供開始(栄養指導科)	
看護部	開設準備室に看護職員2名配置	開設準備室に新卒新人7名、既卒者2名を採用 県内外の病院で研修 看護職員数:11名	開設準備室に新卒新人4名、既卒者8名を採用 前年度採用者とともに県内外の病院で研修 看護職員数:23名	9月 外来・第1病棟の2看護単位でスタート 特2類看護受け持ち制を土台としたチームナーシング 看護職員数:41名	5月 第2病棟開設 看護職員数:57名	診療報酬改定により、新看護体系(A)3:1看護、6:1看護補助および夜間看護加算(1)aに移行 看護学生の実習受け入れ開始 阪神淡路大震災被災地支援に派遣
地域生活支援部				診療部門生活療法科(地域医療連携の前身)と、社会復帰部門(精神科デイケア部門)が発足		

平成7年度 (1995年度)	平成8年度 (1996年度)	平成9年度 (1997年度)	平成10年度 (1998年度)	平成11年度 (1999年度)	平成12年度 (2000年度)	平成13年度 (2001年度)	平成14年度 (2002年度)	平成15年度 (2003年度)	平成16年度 (2004年度)
由良 了三	由良 了三	由良 了三	田崎 正善	田崎 正善	小野 従道	小野 従道	田崎 正善	波多野 和夫	波多野 和夫
乗原 治雄	宮路 和生	宮路 和生	田淵 金彦	田淵 金彦	田淵 金彦	田淵 金彦	田淵 金彦	仙波 庄一	仙波 庄一
田淵 金彦	宮路 和生	宮路 和生	田淵 金彦	田淵 金彦	田淵 金彦	田淵 金彦	田淵 金彦	仙波 庄一	仙波 庄一
渡邊 央	渡邊 央	岩重 達也	岩重 達也	岩重 達也	岩重 達也	岩重 達也	岩重 達也	岩重 達也	岩重 達也
松田 恵子	松田 恵子	松田 恵子	松田 恵子	松田 恵子	松田 恵子	松田 恵子	松田 恵子	宮本 美佐江	宮本 美佐江
PSM(思春期スタッフミーティング)開始	アルコール依存症家族教室および家族ミーティング開始	滋賀県精神科救急医療システム事業 / 精神科救急医療施設の指定		臨床研修指定病院の指定(協力病院)/引きこもり家族教室・摂食障害家族教室開始	応急入院指定病院の指定	病棟増改築工事起工・竣工	統合失調症圏家族教室開始		
					精神病棟入院時医学管理加算/精神科応急入院施設管理加算			薬剤管理指導料	
		彦根保健所アルコール相談事業に協力開始(医局)							長浜保健所アルコール相談事業に協力開始(医局)
				外来患者さんへの「お薬の説明書」交付開始(薬剤科)	DI室(医薬品情報管理室)の整備、薬局ニュース発行開始(薬剤科)		一部の薬剤を除外除く薬剤投与日数制限の解除(薬剤科)	外来院外処方せん全面発行開始、入院患者薬剤管理指導業務開始(薬剤科)	
									コンピュータッド・ラジオグラフィ(CR)システム導入(放射線科)
						血中薬物濃度の院内検査実施(検査科)		検査システムの更新(検査科)	生化学、免疫・感染症の自動分析装置更新、検査案内作成(検査科)
							成分栄養管理に変更(栄養指導科)		
	日本看護協会近畿地区看護研究会、日本精神科看護技術協会滋賀県支部看護研究発表会にそれぞれ1題の研究発表	日本精神科看護技術協会全国学会にて研究発表	ナースキャップの廃止	院内他部署研修(院内留学)開始	外来を中心に訪問看護を開始				
							統合失調症圏家族教室を開始(現在の精神医療センター家族の会)		

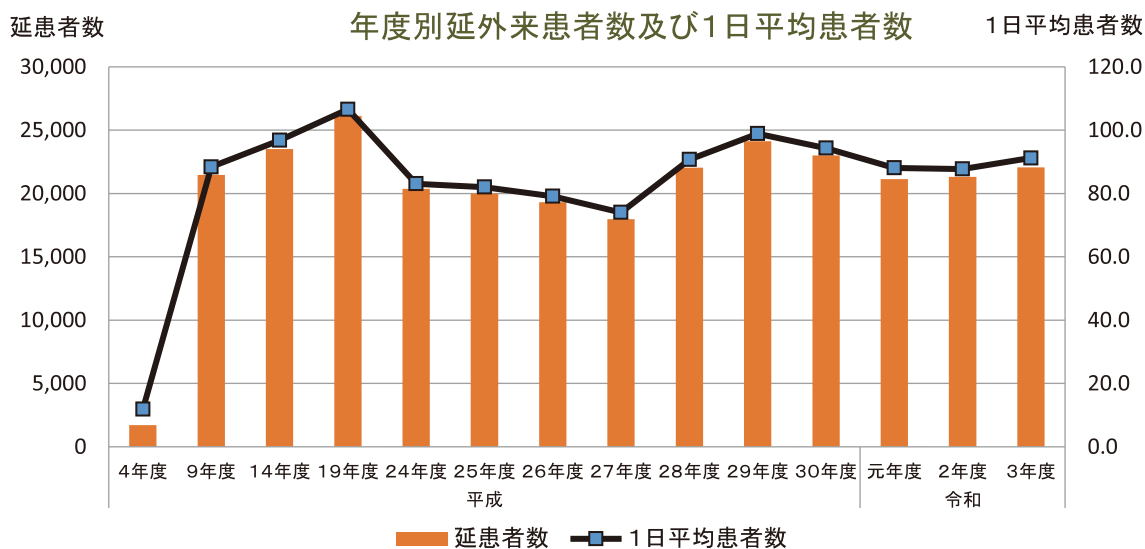
	平成17年度 (2005年度)	平成18年度 (2006年度)	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)
病院長 (所長H4～H17)	波多野 和夫	波多野 和夫	辻 元宏	辻 元宏	辻 元宏	辻 元宏
病院次長	小山 哲彦	小山 哲彦	小山 哲彦	竹岡 久雄	竹岡 久雄	吉田 豊
事務局長	小山 哲彦	小山 哲彦	小山 哲彦	竹岡 久雄	竹岡 久雄	吉田 豊
診療局長 (部長H4～H8)	岩重 達也	岩重 達也	岩重 達也	大井 健	大井 健	大井 健
看護部長	宮本 美佐江	宮本 美佐江	宮本 美佐江	宮本 美佐江	宮本 美佐江	宮本 美佐江
病院全体の経緯	医療観察法指定通院 医療機関の指定/ (財)日本医療機能評価 機構 病院機能評価 (Ver.4.0) 認証取得	地方公営企業法全部適用/組織改 編に伴い、精神医療センターに名称 変更	病院情報シ ステム(オー ダリングシス テム)導入			(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価 (Ver.6.0) 認証更 新
施設基準	通院対象者通院医学 管理料(医療観察法)	精神病棟入院基本料(15対1)、看 護配置加算、看護補助加算1/精神 科ショート・ケア(大規模)/救急医療 管理加算・乳幼児救急医療管理加 算/CT撮影およびMRI撮影		医療保護入院等 診療料	検体検査管 理加算(1)/ 精神科身体 合併症管理 加算	アルコール依存症入院医療管 理加算/摂食障害入院医療管 理加算、精神科作業療法/精神 科急性期治療病棟入院料1
診療局				向精神薬の長期 投与開始(薬剤科)		
		X線CT装置(2列)に更新(放射線科)		X線ポータブル撮 影装置更新(放射 線科)		MR装置(1.5T)に更新(放射線 科)
		栄養管理実施加算の新設(栄養指 導科)				
看護部		精神病棟入院基本料(15:1)、看護配 置加算、看護補助加算1 日本精神科看護技術協会精神科認 定看護師資格を1名が取得				日本精神科看護技術協会精神 科認定看護師資格を1名が取 得
地域生活 支援部				生活療法科が「地 域生活支援室」と して新設置。従来 業務に加えて退院 促進や地域生活 安定のための支援 をチームで取り組 み始めた		・生活支援担当とデイケア担当 で構成される、「地域生活支援 部」が設置された ・作業療法室が開設された

平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
辻 元宏	大井 健	大井 健	大井 健	大井 健	大井 健	大井 健
吉田 豊	前川 清	若林 剛	若林 剛	小川 長利	小川 長利	小川 長利
吉田 豊	前川 清	若林 剛	若林 剛	小川 長利	小川 長利	小川 長利
大井 健	柴崎 守和	柴崎 守和	柴崎 守和	柴崎 守和	柴崎 守和	柴崎 守和
篠塚 ひとみ	篠塚 ひとみ	篠塚 ひとみ	篠塚 ひとみ	篠塚 ひとみ	篠塚 ひとみ	白崎 恵子
医療観察法病棟準備室設置/ 診断書作成支援システム導入/ アルコール依存症および薬物依存 症対象の外来治療プログラム(SMA RPPスマーブ)開始/ 東日本大震災被災地支援に職員派遣		医療観察法病 棟開棟	病院総合情報システム(電子 カルテシステム)導入			
	精神科救急搬送患 者地域連携紹介加 算/医療観察精神科 作業療法(医療観察 法)	入院対象者入院 医学管理料 (医療観察法)	医療観察精神科デイ・ケア「大 規模なもの」/ 医療観察精神 科ショート・ケア「大規模なも の」/ 医療観察抗精神病特定 薬剤治療指導管理料		光トポグラフィー 検査導入	通院対象者 社会復帰連 携体制強化 加算(医療観 察法)
					甲賀保健所ア ルコール相談事 業に協力開始 (医局)	
		医療観察法病 棟開棟による業 務拡大、治療抵 抗性統合失調 症治療薬の管 理業務開始(薬 剤科)	電子カルテ導入による調剤シ ステムとの連携開始(薬剤科)			
		X線一般・TV撮 影装置更新(放 射線科)	放射線情報・読影レポート・画 像管理システム導入(放射線 科)		X線CT装置(16 列)に更新(放 射線科)	
		血液自動分析 装置更新(検査 科)	ホルター心電計整備(検査科)	脳波計更新(検 査科)	光トポグラフィー 検査開始 HbA1c、尿一般 検査分析装置 更新(検査科)	
		厨房移転、温冷 配膳車による配 膳を開始(栄養 指導科)				
病院事業庁キャリアラダーシステム の導入 日本看護協会認定の精神看護専門 看護師資格取得者1名	県立病院間での院 外留学開始 日本精神科看護技 術協会精神科認定 看護師資格は計2 名が取得	第3病棟(医療 観察法病棟)開設 看護職員:94名 日本精神科看 護技術協会精 神科認定看護 師資格を1名が 取得			包括的暴力防 止プログラム(C VPPP)トレー ナー養成研修 の開始	
医療観察法関連業務立ち上げを目 指して、スタッフが大幅に増えた		・生活支援担当 が「地域医療連 携担当」へ名称 を変更 ・医療観察法関 連業務を開始		デイケア担当で は、デイケアの 利用期限を3年 とし、より治療 意欲を高め健康感 の回復を意識し たプログラムを 展開	・地域医療連携 係、デイケア係 へ名称を変更 ・訪問看護業務 が、外来から地 域医療連携係 の担当となった	発達障害専 門デイケアを 開設

	平成30年度 (2018年度)	平成31年度/令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
病院長 (所長H4～H17)	大井 健	大井 健	大井 健	大井 健	大井 健
病院次長	江村 憲司	江村 憲司	青木 克憲	青木 克憲	柴宮 裕
事務局長	江村 憲司	江村 憲司	青木 克憲	青木 克憲	柴宮 裕
診療局長 (部長H4～H8)	大井 健	千貫 悟	千貫 悟	千貫 悟	千貫 悟
看護部長	白崎 恵子	白崎 恵子	大塚 喜久江	大塚 喜久江	大塚 喜久江
病院全体の経緯		滋賀県依存症専門医療機関・依存症治療拠点選定要綱(以下、同要綱)に基づくアルコール依存症の依存症専門医療機関、依存症治療拠点機関に選定	同要綱に基づくギャンブル等依存症の依存症専門医療機関、依存症治療拠点機関に選定 / 同要綱に基づく薬物依存症の依存症専門医療機関、依存症治療拠点機関に選定 / ギャンブル障害標準治療プログラム(STEP-G ステップジー)開始	しが子どものこころ専門医研修施設群に認定/第8回成人発達障害支援学会滋賀大会開催/第1・2病棟の病棟機能の入れ替え	創立30周年記念式典開催
施設基準					
診療局		薬学教育協議会病院・薬局実務実習近畿地区調整機構による薬学部学生の実務実習受け入れ開始(薬剤科)			
			フラットパネル型X線ポータブル撮影装置に更新(放射線科)		
		検査システム更新、血液ガス分析装置更新(検査科)	リチウム、免疫・感染症自動分析装置更新感染症対策として安全キャビネット設置(検査科)	生化学・血液・免疫の院内検査項目35項目の基準範囲について、日本全国で共通して利用できる「共用基準範囲」を採用(検査科)	
看護部		院内キャリアラダーシステム開始			
地域生活支援部		地域医療連携、訪問看護係、社会復帰支援係の3係体制となった			

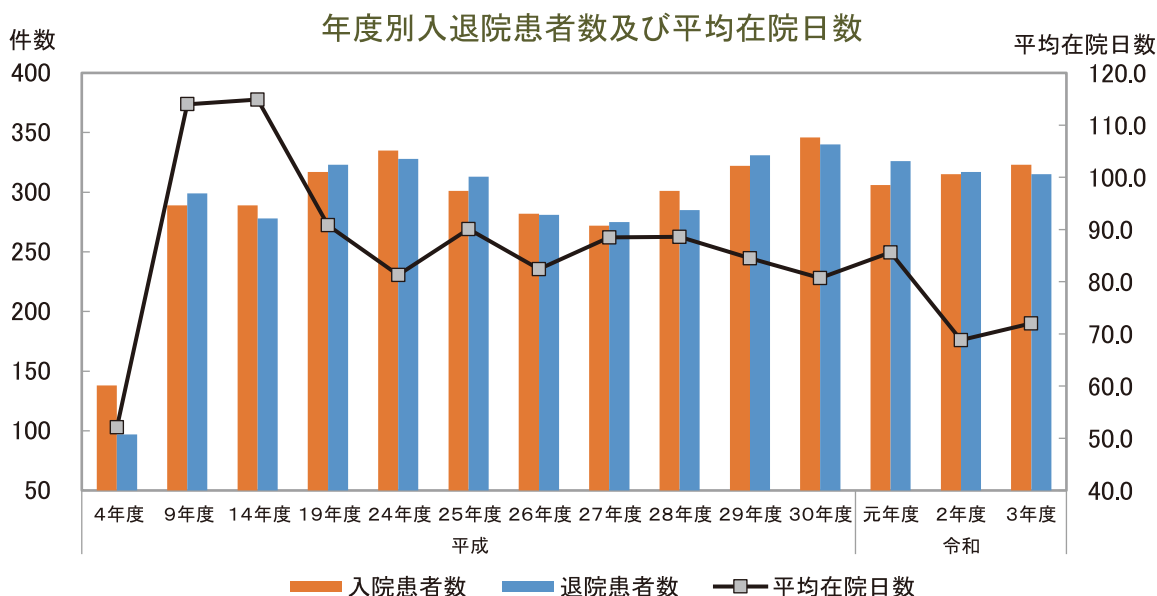
◆外来患者数の推移

	平成											令和		
	4年度	9年度	14年度	19年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
延患者数	1,721	21,471	23,512	26,119	20,368	19,998	19,310	17,980	22,030	24,132	23,013	21,142	21,310	22,066
1日平均患者数	11.9	88.4	96.8	106.6	83.1	82.0	79.1	74.0	90.7	98.9	94.3	88.1	87.7	91.2



◆入院患者数の推移

	平成											令和		
	4年度	9年度	14年度	19年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
入院患者数	138	289	289	317	335	301	282	272	301	322	346	306	315	323
退院患者数	97	299	278	323	328	313	281	275	285	331	340	326	317	315
平均在院日数	52.1	114.0	114.9	90.8	81.3	90.1	82.4	88.5	88.6	84.5	80.7	85.6	68.8	72.0



編集後記

令和4年度、滋賀県立精神医療センター開設30周年を迎えるにあたり、これまでの当センターのあゆみを記し、今後に向けての資料とするため30周年記念誌を発行することになりました。

令和3年12月に、退職された方や現役職員に原稿を依頼し、また各部局の職員に部局紹介を作成していただきました。それから写真収集を始めて、ようやく令和4年の秋に何とか原稿を取りまとめることができました。依頼から1年以上も経て形にすることになり、原稿を作成していただいた方々にはお待たせをして大変申し訳ない思いです。

写真選びの際は開設当時を知る職員に集ってもらい、色々な思い出を聞きながら選ぶことができました。また、原稿を集める中で、退職された方や現役職員の当センターへの想いを感じることができました。30年という節目にこの記念誌を作成することで、これまで当センターに関わっていただいた方々への感謝の気持ちをお伝えできれば幸いです。

最後になりましたが、記念誌の作成にあたりまして、資料の提供や原稿の執筆にご協力いただいた関係者の皆様、50周年記念誌を参考にさせていただきました滋賀県立総合病院の皆様、編集にご支援いただきました八身共同印刷様に心より御礼申し上げます。

広報委員会

病院長		大井 健
令和3年度広報委員会委員長	次長	青木 克憲
令和4年度広報委員会委員長	次長	柴宮 裕
看護部	副部長	藤野 裕子
地域生活支援部訪問看護係	係長	大島由里子
地域生活支援部	主任技師	辻 和也
事務局	主任主事	安田 恭子
事務局	主査	岡崎 郁子
事務局		笹田結美子
事務局		西岡 大貴

滋賀県立精神医療センター開設30周年記念誌

2023年3月 発行

発行 滋賀県立精神医療センター
滋賀県草津市笠山八丁目4番25号
編集 滋賀県立精神医療センター広報委員会
協力 八身共同印刷

よりそい、ささえる



滋賀県立精神医療センター